

トヲ含ムモノニ非スト了解スルコト

(三) 第三項末段ハ犯則者カ若シ中立國法域内ニ於テ發見セラレタル場合ニハ其ノ犯罪者ノ所屬國ニ引渡シ該國ヲシテ審問處罰ヲ爲サシムルコトニ修正スルコト

以上(二)及(三)ハ戰時中交戰國ト中立國トノ紛議ヲ惹起シ爲ニ戰爭ノ範圍ヲ擴大スルカ如キコトヲ避ケムトスル趣旨ナルカ若シ他國ニ於テ強ク反對スル場合ニハ前記三點トモ固執セラレルニ及ハス

第二節 議事經過ノ概要

議事經過
概要

一、潛水艦ニ關シテハ英國全權ノ全廢主張ニ對シ佛國側カ強硬ニ反對シタル爲遂ニ協定不能ニ終ルヤ十二月二十八日ノ第十回軍備制限總委員會ニ於テ米國全權「ルート」氏ハ潛水艦ノ商船攻撃ニ關スル現在ノ國際法規ヲ確認スルト共ニ將來潛水艦ヲ通商破壞ノ用ニ供スルコトヲ禁止シ且其違反者ヲ海賊ニ準シテ處罰セントスル趣旨ノ協定ヲ先ツ五ヶ年間ニ約定シ更ニ他ノ文明諸國ヲモ之ニ參加セシメントスル決議案ヲ提出シ述ヘテ曰ク「大戰ニ依リ吾人ハ二ツノ教訓ヲ得タリ其一ハ從來外交官ノ作成セル此種ノ國際法カ甚タ微力ナルコトヲ明ニシタルコトニテ其ノ二ハ輿論ノ力極メテ偉大ナルコトカ立證セラレタルコトナリ而シテ輿論ノ力ヲ強大ナラシメンカ爲メニハ問題ヲ簡單明瞭ナラシムルコトヲ要ス即チ文明世界ヲ震駭シタル潛水艦問題ヲ田夫野人ニモ亦克ク了解シ得ラルルカ如キ形式ニ取リ纏メントスル所ニ此決議ノ趣旨カ存スル次第ナリ」云々ト斯クテ十二月二十九日、三十日及一月五日、六日ノ四回ノ總委員會ニ於テ引續キ審議ノ結果「ルート」氏ノ原案ハ形式及字句上多少ノ修正ヲ加ヘラレタルモ大體ニ於テ其儘採用セラレタリ

二、毒瓦斯ニ關シテハ陸軍軍備制限問題ヲ審議セル十一月二十三日ノ第二回總委員會ニ於ケル決議ニ基キ同日午後ノ第二回議題及議事進行委員會ニ於テ戰時法規及航空兩分科會ト相併シテ毒瓦斯分科會ヲ設置シ專門の見地ヨリ毒瓦斯使用禁止ノ問題ヲ研究セシメタルニ右分科會ノ報告ハ毒瓦斯禁止ヲ以テ事實上不可能ナリトスル結論ニ達シタリ然ルニ一月六

日ノ第十六回總委員會ニ於テ議長「ヒューズ」氏ハ右毒瓦斯分科會ノ報告ト共ニ毒瓦斯使用禁止ヲ強ク主張セル米國側諸問委員會ノ報告並ニ米國海軍將官會議ノ報告ヲ披露シ次テ米國全權「ルート」氏ハ「ヴェルサイユ」條約第七十一條ノ規定ヲ基礎トシテ後ニ五國條約第五條ニ採用セラレタルカ如キ決議案ヲ提出シ翌一月七日ノ第十七回總委員會ニ於テ異議ナク可決セラレタリ

三、米國全權「ルート」氏カ提議セル前記ノ潛水艦及毒瓦斯ニ關スル決議案ハ其ノ後一括シテ一條約案ノ形式ニ改メラレ二月一日ノ第五回總會議ニ於テ可決セラレ二月六日署名調印ヲ了シタリ

四、航空問題、十一月二十三日午後ノ第二回議題及議事進行委員會ハ航空機ニ關シテモ專門の見地ヨリ研究セシムル爲メ毒瓦斯及戰時法規分科會ト相併シテ航空分科會ヲ設置シ該分科會ハ數回ノ會議ノ後報告書ヲ總委員會議長ニ提出シ「ヒューズ」氏ハ之ヲ一月七日ノ第十七回總委員會ニ披露セリ其結論ヲ要約スレハ

(一) 航空機ノ數及性質ニ付テハ其ノ軍用タルト私用タルトヲ問ハス空氣ヨリ輕キ航空機ヲ除クノ外之ニ對シテ制限ヲ加フルヲ得サルコト

(二) 戰時ニ於ケル航空機ノ使用ニ關シテハ將來ノ會議ニ於テ航空機ニ適應スル戰時法規ヲ定ムヘキコト
ノ二綱目ニシテ總委員會ハ之ヲ承認シタリ

五、戰時法規問題

十一月二十三日午後ノ第二回議題及議事進行委員會ニ於テ毒瓦斯航空分科會ト相並ニテ設置セラレタル戰時法規分科會ハ成績觀ルヘキモノナカリシ所一月九日ノ第十八回總委員會ニ於テ航空機使用問題ニ關連シテ最近ノ實驗ニ依リ新式武器ノ爲メ變更ノ必要ヲ見ルニ至レル現行國際法規ニ付キ研究ヲ遂ケシムル目的ヲ以テ新ニ法律家ノ委員會ヲ設クヘシトノ議起リ右決議案ヲ起草委員會ヲシテ起草セシメ之ヲ一月二十七日ノ第十九回總委員會ニテ決議セリ即チ五國ヨリ二名宛ノ代表者ヲ出シテ委員會ヲ設置シ各國ハ華府會議終了後三箇月内ニ右代表者ノ任命ニ付キ米國政府ニ通知スヘキコト

トセリ尙二月一日ノ第二十一回總委員會ハ華府會議ニ於テ採用セラレタル潛水艦及毒瓦斯使用ニ關スル規則又ハ聲明ニ付テハ前記ノ委員會ニ於テ再議ヲ爲ササルヘキ旨決議セリ

第二章 潛水艦及毒瓦斯ニ關スル五國條約

第一節 潛水艦使用規則

第一款 全體ニ關スル議論

第一項 第十回軍備制限總委員會

「ヒューズ」氏ハ航空母艦問題ノ討議ニ入ルニ先立チ潛水艦ノ不法ナル使用ニ關シテ審議ニ入り度キ旨ヲ宣シ「ルート」(Root)氏ニ潛水艦ノ使用法規ノ提案ヲ促ス

「ルート」氏提案ス

「ルート」(Root)氏ハ立チテ先ツ其提議セムトスル決議案ハ主トシテ大戰ノ教訓ニ基キ

(一) 政府間ノ單ナル協定タル外交官ノ間ニ作成セラレタル規則ハ交戰國カ勝利ヲ得ル爲其違反ヲ敢テスルヲ有利ト認メタル場合ニ於テハ其ノ效用ヲ發揮シ得サリシコト

(二) 大戰中文明國民ノ輿論ノ力ノ極メテ強大ニシテ戰時中ノ宣傳ハ主トシテ輿論ヲ動カス爲ニ行ハレ戰爭ノ結果モ輿論ニ合致シタルコト

ノ二點ニ注目シテ作成シタルコトヲ述ヘ輿論ナルモノハ學問識見ノ備ハレル人々ノ意見ニハ非スシテ簡明卒直ナル意見ノ迸リ出テタルモノニ過キサレハ公衆力或問題ニ付適確ナル理解ヲ有セサルトキハ輿論ハ有力ナラサルモ若シ公衆力其問題ヲ明確ニ理解セル場合ニ於テハ輿論ハ何國ト雖モ否定シ得サル大勢力トナルヘシト論シ今提議セムトスル決議案ハ何人ト雖モ一讀以テ直ニ其感情ヲ動カスニ足ルカ如キ簡明ナル形式ヲ採リタリト述ヘ決議第一條ハ現行規則ヲ何人モ理解シ得ルカ如キ形式ヲ以テ書キ表ハシタルモノナリト前提シ左ノ決議案ヲ朗讀ス

潛水艦規則
則原案